

病害虫の
見分け方
シリーズ

同定困難な緑色系カスミカメムシ類の識別

アメリカ自然史博物館リサーチアソシエイト やすながともひで
安 永 智 秀

はじめに

体が全体的に淡緑色で、大きさが中程度（体長4～6mm）のカスミカメムシ類は、半世紀以上前から難分類群と目されてきた。我が国には4属にわたって30種以上が生息しており、いくつかは重要な農業害虫としても知られる。

日本の農業生態系で生産者の懸念となりがちな代表種として、コアオカスミカメ（コアオ：図-1A）、ツマグロアオカスミカメ（ツマグロ：図-1B）およびウスモンミドリカスミカメ（ウスモン：図-2A～C）の三つがあげられよう。図-1～2に示す通り、サイズや体型、色彩斑紋が酷似しており、肉眼で観ただけでは混同・誤同定を招きやすい。個体変異や季節的変異が現れやすいことも、分類を困難にする一因となっている。これらの種類をネット上で検索すると夥しい情報が得られるが、種を取り違えているサイトも少なくない。また、地域によっては気候変動の影響からか、低温

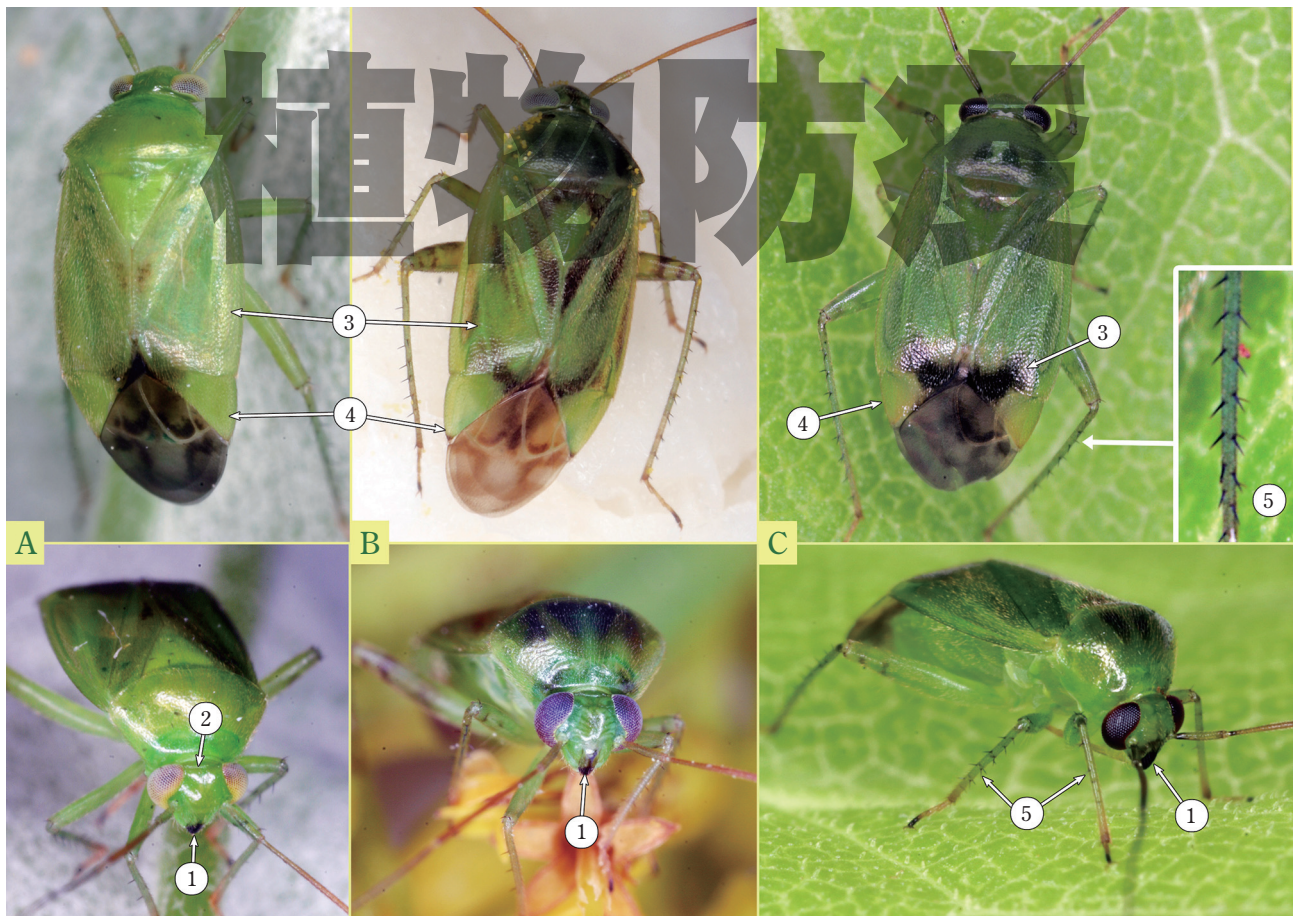


図-1 緑色系ツヤマルカスミカメ類 (*Apolygus* 属の3酷似種) の区別点 (①～⑤は表-1参照)

A: コアオカスミカメ, B: ツマグロアオカスミカメ, C: ツヤコアオカスミカメ.

Identification Method for Confusable Plant Bugs (Miridae) with Greenish General Coloration.

By Tomohide YASUNAGA

(キーワード: カスミカメムシ, 緑色系, 分類, 同定)